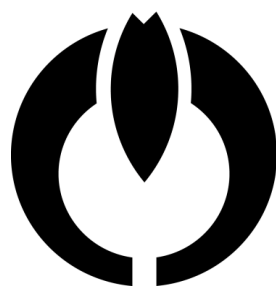


令和元年版

こがねいのとうけい



小金井市



市章

昭和33年10月1日決定

この市章は市制施行を記念して、一般公募により定められたもので、小金井市が桜で有名などころから、桜の花びらを配し、小金井の「小」の文字を図案化して、本市を表象しています。

## 小金井の地名の起こり

湧水と結びつきのある土地に「井」のつく地名が残っており、古い時代から湧水を中心に集落があったことを示しています。(武蔵野には、井の頭・石神井・貫井など七つの”井“があったという)

小金井の地名は「黄金に値する豊富な水が出る」ことから黄金井(こがねい)ー小金井になったとされています。また、中世には現在の前原町南部が金井原(かないはら)と呼ばれ、それに「小」がついて小金井になったという説もありますが、明らかではありません。



市の花・サクラ

昭和48年10月1日制定



市の木・ケヤキ

昭和48年10月1日制定



市の鳥・カワセミ

平成15年10月1日制定



市の虫・カンタン

平成15年10月1日制定

## ま え が き

ここに、「令和元年版 こがねいのとうけい」を刊行いたします。

本書は、小金井市の人口、産業、市民生活、社会福祉、保健、環境衛生、都市施設、教育、文化などの各分野にわたる基本的な統計資料を収録し、市の現状と推移を紹介するものです。

今日、社会経済環境は、少子高齢社会の到来、情報化・国際化の進展、価値観の多様化、安全・安心に対する関心の高まり等大きく変わろうとしています。このような変化を的確に把握し、今後のまちづくりを進め、社会生活を豊かにするための基礎資料として、統計の役割はより高まっています。本書がその役割の一端を担い、当市の将来像である「みどりが萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ 小金井市」の道しるべとして、皆様に広く御活用いただければ幸いです。

本書の編集に当たりましては、可能な限り最新の資料を取り入れ内容の充実に努めてまいりましたが、まだまだ不十分な点も多いと思われまます。今後とも皆様の御指導のもと、より一層の内容充実に努めていく所存です。

最後に、本書の刊行に当たり貴重な資料の提供に御協力いただきました関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

令和 2 年 3 月

小金井市長 西岡 真一郎

数 字 で 見 る 小 金 井

面積	11.30 km <sup>2</sup>	-	学童保育所数	18 保育所	30年度
人口	121,443 人	31.1.1	医療施設数	281 施設	31.3.31
世帯数	60,367 世帯	31.1.1	感染症患者数	28 人	30年度
1世帯当り人口	2.01 人	31.1.1	ごみ処理量	25,234 t	30年度
人口密度 (km <sup>2</sup> 当り)	10,747 人	31.1.1	し尿処理量	80.5 k $\theta$	30年度
最高年齢	105 歳	31.1.1	公害発生件数	76 件	30年度
年間転入者数	9,741 人	30年度	幼稚園数	7 園	31.5.1
年間転出者数	8,748 人	30年度	園児数	962 人	31.5.1
年間出生者数	1,088 人	30年度	小学校数	10 校	31.5.1
年間死亡者数	906 人	30年度	児童数	6,098 人	31.5.1
外国人住民数	2,792 人	31.1.1	中学校数	9 校	31.5.1
15歳以上人口	106,689 人	31.1.1	生徒数	3,763 人	31.5.1
事業所数	2,905 事業所	28.6.1	高等学校数	6 校	31.5.1
従業者数	29,989 人	28.6.1	生徒数	4,181 人	31.5.1
工場数	15	29.12.31	大学数	1 校	30.5.1
従業者数	329 人	29.12.31	学生数	5,411 人	30.5.1
製造品 出荷額等	3,823 百万円	29.12.31	各種学校数	1 校	31.5.1
商店数	447 店	26.7.1	生徒数	一人	31.5.1
従業者数	4,340 人	26.7.1	専修学校数	3 校	31.5.1
農家数	149 戸	27.2.1	生徒数	2,015 人	31.5.1
農家人口	330 人	27.2.1	市立図書館数	1 館	31.3.31
建物総数	28,744 戸	31.1.1	蔵書数	283,389 冊	31.3.31
たばこ消費量	89,935 千本	30年度	市職員数	677 人	31.4.1
酒消費量	25,462 k $\theta$	29年度	普通会計歳入額	47,375,675 千円	30年度
生活保護世帯数	1,529 世帯	30年度	市民1世帯当り	782 千円	30年度
世帯人員	1,723 人	30年度	市民1人当り	390 千円	30年度
市立保育園数	5 園	31.4.1	普通会計歳出額	45,561,171 千円	30年度
園児数	529 人	31.4.1	市民1世帯当り	752 千円	30年度
児童遊園設置数	85 か所	30年度	市民1人当り	375 千円	30年度
子供広場設置数	47 か所	30年度			
老人クラブ数	13 クラブ	30年度			

## 凡 例

### 1. 編集に際して

- 1) 本書は、小金井市の人口、産業、社会経済及び文化などの各分野にわたり、基礎的な統計資料を収録してあります。
- 2) 資料は、官公庁、民間団体並びに本市各課の提供、報告によるものです。
- 3) 各統計表の計数は、特別の表示並びに注釈のない限り小金井市を範囲としています。
- 4) 資料の出所及び注意事項は「脚注」に、数値の単位は原則として「頭注」に注記しましたが、理解しやすいものについては省略しました。
- 5) 数字の単位未満は、原則として四捨五入してあります。
- 6) 掲載されている資料は、現時点で収集しうる最新の情報を掲載しております。なお、原則として平成28年度、29年度、30年度の3か年度を主として収録してあります。
- 7) 頭注に年月日の記載のあるものは、その日現在で把握したものです。
- 8) 頭注に年月日の記載のないものは、一年間の動き等を末現在で把握したものです。
  - イ. 年 度 4月1日から3月31日まで
  - ロ. 暦 年 1月1日から12月31日まで
- 9) 集計数値については、四捨五入の関係で、必ずしも個々の内訳合計の数値と一致しない場合があります。

### 2. 統計表の符号

…	不詳又は資料なし
—	皆無又は該当数字なし
0	0.5未満
X	秘匿数字
△	減少を意味する